

授業科目 成人言語障害学演習Ⅰ

【担当教員名】 栗崎 由貴子		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要】 失語症臨床の重要な領域のひとつに「評価」がある。この演習科目は、対象者の症状を的確に把握し分析する力を身につけるために、実践に即した形式で行う。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状に応じた評価を選択できる 2. 評価を滞りなく実施できる 3. 症状を記録できる 4. 記録した症状を分析できる 5. 分析結果を失語症治療に結びつけることができる 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	評価の流れ	1	講義・演習、担当：栗崎 由貴子		
2	インテーク・情報収集	2	講義・演習、担当：栗崎 由貴子		
3	総合的失語症検査 1	2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
4	総合的失語症検査 2	2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
5	総合的失語症検査 3	2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
6	掘り下げ検査 1	1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
7	掘り下げ検査 2	1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
8	掘り下げ検査 3	1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
9	掘り下げ検査 4	1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
10	掘り下げ検査 5	1・2・3	演習、担当：栗崎 由貴子		
11	症状分析 1	4・5	演習、担当：栗崎 由貴子		
12	症状分析 2	4・5	演習、担当：栗崎 由貴子		
13	症状分析 3	4・5	演習、担当：栗崎 由貴子		
14	記録の書き方	4・5	演習、担当：栗崎 由貴子		
15	まとめ	1～5	講義、担当：栗崎 由貴子		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	新編 言語治療マニュアル	伊藤元信・笹沼澄子編	医歯薬出版	2012・6,400円＋税	
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、演習態度、レポート提出の総合評価とする		【履修上の留意点】			